

インターネット使用のルール

～〇〇小学校児童配布用～

インターネット（パソコン・携帯電話）を使用するとき大切なこと

I 相手を思いやる

II 自分の身は自分で守る

1 基本

- (1) 自分のことは、自分の責任で行う。
- (2) 正しく伝わるように気を付ける。
- (3) 家の人や先生の説明をよく聞く。

2 身を守るためのやくそく

- (1) パスワードを人に教えない。
- (2) 自分のユーザーIDだけを使う。
- (3) 名前や住所、電話番号、おうちの人のことを聞かれても答えない。
- (4) インターネットです会った人と会う約束をしない。
- (5) コンピュータウイルスに感染しないため、危ないメールは開かない。
- (6) 一人の人にたくさんのメールを出してはいけない。
- (7) インターネット上でいたづらをしない。
- (8) 先生や家の人からの許可が無いときは、パソコンを操作しない。

3 法律にかかわること

- (1) ちよさくけん（人間が文字や記号、音や色などで新しくつくったものを守るしくみ）の法律のことを考える。
- (2) 写真に写っている人にめいわくがかからないようにする。
- (3) 友だちの住所や電話番号などを教えない。
- (4) 掲示板やメールに書いてもよいか悪いかわからなくなったら、すぐに先生や家の人に聞く。

4 電子メール

- (1) 相手がおこったり、気分が悪くなったりしないように考えて書く。
- (2) 内容のわかりやすい題名をつける。
- (3) 電子メールの最後に連絡先とメールアドレスを書く。
- (4) 電子メールを出す前には、先生や家の人に見てもらう。
- (5) あて先を確認してから送る。
- (6) 電子メールに人の悪口を書いて送らない。また内容には偽りもあるので気を付ける。
- (7) いやなメールを受け取ったら、先生か家の人に相談する。

5 掲示板・チャット・メーリングリスト

- (1) 掲示板・チャット・メーリングリストにインターネットのルールやマナーがたくさんあるので、ルールやマナーの勉強中である子どもは参加しない。
- (2) もし、どうしても参加したいときは、必ず先生か家の人といっしょに行く。

6 ワールド・ワイド・ウェブ（世界中のいろいろな情報がホームページなどで公開されていること）

- (1) 内容は正しいか、古くないか確認する。
- (2) 内容は誰（人・団体・会社）が発信しているのか確認する。
- (3) 悪い内容のページや年齢制限のあるページには絶対入らない。
- (4) ページ上に人の悪口は書かない。
- (5) インターネット上で勝手に買い物をしてはいけない。
- (6) わからないことがあったら、すぐに先生か家の人に相談する。

《〇〇小学校情報部・生徒指導部》